富士フイルムビジネスイノベーションジャパン
大阪府とスマート福祉の実現に向けた事業連携協定を締結

DX により福祉分野の業務改善に取り組み、府民サービスの向上を支援

2022 年 9 月 9 日

富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社(本社:東京都江東区、取締役社長:旗生 泰一)は、本日、大阪府とスマート福祉の実現に向けた業務改善等に関する事業連携協定を締結しました。

当社は、自治体のお客様向けに、行政手続きの申請・届出等の業務プロセスの見直しからシステム構築および運用支援まで、全ての工程でデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、業務効率化を支援しています。

特に、「紙」の申請書・文書が多く発生する自治体業務においては、AI-OCR 技術[※1]を採用したクラウドサービス「ApeosPlus desola Technology by AI inside（アペオスプラス デソラ テクノロジー バイ エイアイ インサイド　以下、ApeosPlus desola）」[※2]を活用してデジタル化することで、より業務効率化が加速すると考え、今回の締結に至りました。

当社は、大阪府とスマート福祉の実現に向けた取組みを相互に連携・協力して進める事で、大阪府における福祉分野のスマート化（ICT を活用した業務改善等）による府民サービスの向上を支援します。

【事業連携協定の実施内容】

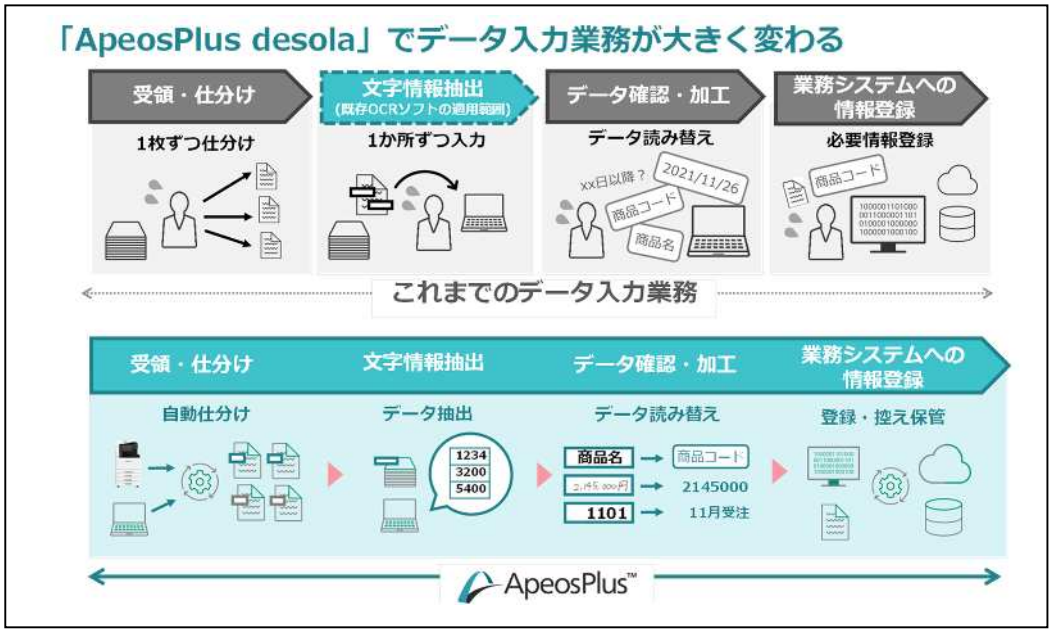
(1) <業務改善>　福祉分野における業務改善の推進
・他の自治体での事例を踏まえ、手書きの申請書・文書を使った業務を ApeosPlus desola の活用により改善する具体案の提案・助言を実施。
・ApeosPlus desola を効果的に活用するための帳票設計を支援。
・手書きの申請書・文書にかかわる業務にとどまらず、福祉分野の業務改善につながる提案を実施。

(2) <紙のデジタル化>　紙書類のデジタル化支援
・ApeosPlus desola に対応した複合機を配備し、手書き文字情報のデジタル化が簡単に出来る環境を構築。
・管理者・利用者が ApeosPlus desola を活用できるよう教育を実施。

(3) <有事対応支援>　有事の際の福祉に係る対応業務の支援
・新型コロナウイルス感染症等、有事の対応として生じる新規業務を効率的・効果的に実施するための相談・助言を実施。

締結式の様子（写真）
（左から　大阪府 知事　吉村 洋文、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 執行役員　菊池 史朗）

※１：AI を活用して画像データからテキストデータを抽出する技術
※２：帳票の入力・加工から各種業務システムへの登録まで、データ入力業務全体の効率化を支援するクラウドサービス。紙文書や電子化されたイメージから、AI-OCR を活用して文字データを抽出、さらに業務に合わせて内容の加工・チェックを自動的に行います。これまで人手で行っていた作業を自動化して、データ入力業務の効率化を実現します。



富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社について

2021 年 4 月、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の日本国内の営業及び保守機能を担う販売会社として設立。47 都道府県に営業・保守網を構築し、入出力業務ソリューションやクラウド・モバイルを活用したソリューション・サービス、複合機・プリンターなどのオフィス機器を提供しています。お客様やパートナーの皆様と共に成長することを目指して、ドキュメントプロセスの改善やデジタル化によりお客様のＤＸを推進し、経営課題・業務課題の解決に貢献します。

https://www.fujifilm.com/fb/company/fbj

・プレスリリースに掲載されているサービス、商品名等は各社の登録商標または商標です。

本件に関する報道関係からのお問い合わせは、下記にお願いいたします。
富士フイルムホールディングス（株）コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
Tel: 03-6271-5120